

情報処理科 3年A組

教科	商業	科目(単位)	ビジネス情報(2単位)	選択相手科目	数学A 日本史A
使用教科書	ビジネス情報 新訂版 (実教出版)				
授業形態	通常授業・分割授業・TT				

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。

※TT(チームティーティング)とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

1 科目の目標

情報通信ネットワークの導入やソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得させ、情報を効率的に処理することの重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用する能力と態度を育てる。

2 科目の内容と授業の進め方

- ・ビジネスに関する情報を収集するだけでなく、表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを活用して管理や分析をするための知識や技能を習得する。

3 学習の方法

- ・コンピュータや情報処理に関する知識を理解するだけでなく、基本的なシステム構築や運用・管理ができるようになること目指してください。
- ・授業展開によっては、卒業作品などを作り発表してもらいます。

4 課題・補習について

- ・定期考査や学習課題の点検によって評価を行います。
- ・補習は実施しません。

5 この授業で取得可能な資格(検定試験)

- ・特にありません。

情報処理科 3年A組

教 科	商 業	科目 (単位)	ビジネス情報 (2 単位)	選択相手科目	数学A 日本史A
-----	-----	---------	---------------	--------	-------------

6 年間の学習計画

月	単元名	学習の内容	評価方法 (課題等)
4	第1章 ビジネスと情報 1. 情報化社会とビジネス 2. ネットワークとビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスと情報の関係、企業で利用されている業務システムを学ぶ。 ・新しいビジネス形態の進展やその課題について学ぶ。 	行動観察 課題提出
5	第2章 情報通信ネットワークの活用 1. ネットワークの基礎 2. ネットワークの構築と管理 3. サーバ管理 4. セキュリティ管理 第3章 表計算ソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークを構築するための機器の概念や設定に関する知識を理解する。 ・ネットワーク機器の導入やコンピュータ等の設定手順、システム管理に関する基礎的な知識・技術を習得する。 ・ファイル共有やアクセス権設定などサーバの管理に関する基礎的な知識を習得する。 ・セキュリティ管理やデータ管理、ネットワークの安全性を維持するために必要な知識や技術を習得する。 	前期 中間考査
6	1. 集計処理 2. オペレーションズ リサーチの基礎 3. ビジネス計算 4. 手続きの自動化	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート間の集計やグループ集計、クロス集計などの技法を理解する。 ・シミュレーションや線形計画の機能について学習し、最適な解き方を理解する。 ・グラフや財務関数などを用いた分析方法を理解する。 ・手続きを自動化させる方法を理解する。 	行動観察 課題提出
7	第4章 データベースソフトウェアの活用		
9	1. ビジネス情報とデータベース 2. データベースの利用 3. SQLの操作	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースの特徴や基本的な機能について、身近な例を示して理解する。 ・データベースの活用方法を習得する。 ・SQLを用いた操作方法を習得する。 	前期 期末考査
10	第5章 ソフトウェアを活用したシステム開発		行動観察 課題提出
11	1. システム開発の基礎 2. アルゴリズムの基礎 3. 表計算ソフトウェアによる開発	<ul style="list-style-type: none"> ・処理の流れを整理するための基礎的および応用的な手法を習得する。 ・マクロ機能を用いた開発の基礎を学習する。 ・データベースソフトウェアを利用し、システムを構築する手法を身に付ける。 	後期 中間考査
12	4. データベースソフトウェアによる開発	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトを活用して、今年学習したことのまとめを行う。 	行動観察 課題提出
1			学年末考査
2			